

◆ 伊賀市の医療をともに支えていきませんか

理学療法士・作業療法士・臨床工学技士・医療事務専門職を募集します

【問い合わせ】 上野総合市民病院病院総務課 ☎ 24-1111 FAX 24-1565 ✉ byouin-soumu@city.iga.lg.jp

【募集人数】

- 理学療法士：1人 ○ 作業療法士：1人
- 臨床工学技士：1人 ○ 医療事務専門職：1人

【応募資格】

- 理学療法士：昭和45年4月2日以降生まれで理学療法士免許を持っている人
- 作業療法士：昭和45年4月2日以降生まれで作業療法士免許を持っている人
- 臨床工学技士：昭和45年4月2日以降生まれで臨床工学技士免許を持っている人
- 医療事務専門職：昭和60年4月2日以降生まれで次の①②いずれかに該当する人
 - ① 次のいずれかの資格などを持っている人
 - (ア) 診療情報管理士
 - (イ) 診療報酬請求事務能力認定試験（医科）合格者
 - (ウ) 医療事務管理士（医科）
 - ② 学校教育法による高等学校を卒業した人で、令和2年3月末時点で、同一病院で継続した実務経験の期間を5年以上有する人

※ 免許・資格等は令和2年3月末までに取得見込みでも可。

【勤務条件・賃金】

市の条例・規則に定めるところによります。

【勤務場所】 上野総合市民病院

【応募方法】 病院総務課にある「伊賀市職員選考採用試験受験申込書」（1通）を持参または郵送で提出してください。申込書は市ホームページからもダウンロードできます。

【選考方法】 作文・面接

【試験日】 12月6日（金）

※ 時間などは応募した人に後日お知らせします。

【採用予定日】 令和2年4月1日（水）

【応募期限】

11月22日（金） 午後5時15分 ※ 必着

※ 郵送の場合は、簡易書留で送付してください。

【応募先・問い合わせ】

〒518-0823 伊賀市四十九町831番地
上野総合市民病院事務部病院総務課

粗大ごみ戸別収集事業（有料）

【問い合わせ】 廃棄物対策課 ☎ 20-1050 FAX 20-2575 ✉ haikibutsu@city.iga.lg.jp

市内に住所がある人を対象に、家具・寝具類・自転車・ファンヒーター・家電製品などの粗大ごみを、自宅前など申し込み時に指定する場所まで収集（有料）に伺うサービスを実施しています。

収集には1点につき200円分の粗大ごみ処理券が必要で、1回の申し込みで5点まで利用できます。※ 家電リサイクル法により、市では家電4品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）は収集できません。

【申込方法】

- ① 粗大ごみ受付センターに電話で申し込む。
- ② 市内のスーパー、商店、農協などの粗大ごみ処理券取扱店で粗大ごみ処理券を購入する。
※ 粗大ごみ処理券取扱店など、詳しくは「資源・ごみ分別ガイドブック」戸別収集事業のページをご覧ください。
※ 処理券の払い戻しはできませんので、必ず申し込みをしてから必要な枚数を購入してください。
- ③ 粗大ごみに粗大ごみ処理券を貼り、予約した収集

日の午前9時（上野・伊賀・島ヶ原・阿山・大山田支所管内）または午前8時30分（青山支所管内）までに、申し込み時に指定した場所に出す。

※ 当日の立ち会いは必要ありません。

※ 申し込んだ粗大ごみ以外は収集できません。

【申込受付時間】 午前8時30分～午後5時

※ 土・日曜日、祝日、年末年始

（12月29日～1月3日）を除く。

【申込先】

《上野・伊賀・島ヶ原・阿山・大山田支所管内》

伊賀北部粗大ごみ受付センター ☎ 20-1255

《青山支所管内》

伊賀南部粗大ごみ受付センター ☎ 64-8700

【問い合わせ】

《上野・伊賀・島ヶ原・阿山・大山田支所管内》

廃棄物対策課

《青山支所管内》

○ 青山支所振興課 ☎ 52-1112 FAX 52-2174

○ 伊賀南部環境衛生組合 ☎ 53-1120

飾り巻き寿司教室

【とき】 12月8日(日) 午後1時30分～3時
【ところ】 大山田公民館 研修室
【内容】 おなじみのキャラクターを、見た目だけでなく、味もおいしい巻き寿司にします。

講師： JSIA 認定飾り巻き寿司
 マスターインストラクター
 花村 明日香さん



【対象者】 市内在住・在勤の人
 ※小学生は保護者同伴
【料金】 1,500円
【持ち物】 巻き簾 (30cm × 30cm 程度)、包丁、布巾、ラップ、エプロン、三角巾、持ち帰り用保存容器

【定員】 20人 ※先着順
【申込方法】 住所・氏名・電話番号を下記までお伝えください。

【申込期間】 11月8日(金)～29日(金)
 ※土・日曜日を除く。

【申込先・問い合わせ】
 大山田公民館
 ☎ 46-0130 FAX 46-0131
 ✉ ooyamada-cc@city.iga.lg.jp

忍者線(伊賀線)だより



忍者線の昔の写真を探しています！

伊賀鉄道忍者線(伊賀線)は、1916(大正5)年に開業以来、大正、昭和、平成、令和と4つの時代を走ってきました。この歴史ある路線の記録を残していくために、大正、昭和期の忍者線(伊賀線)に関する写真(駅などの施設や車両の写真)を探しています。

写真やデータをお持ちで、提供いただける人は、直接、交通政策課までお届けいただく



昭和55年頃の上野市駅

か、下記までご連絡ください。写真の場合は、電子データとして保存し、原本はお返します。

皆さまのご協力をお願いします。

【問い合わせ】 交通政策課
 ☎ 22-9663 FAX 22-9694
 ✉ koutsuu@city.iga.lg.jp

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

ママ、パパ見てて！ —管財課—

「ママ、見ててな！」「パパ、見ててや！」と子どもたちはよく言います。そして、何かを見せた後に「な、できたやろ、すごいやろ。」と決まって得意げな顔で言うのです。そんな表情を見て思わず「すごいやん、やるなあ。」なんて褒めてあげると満面の笑みをこちらに返してくれます。そうやって子どもたちは、自分でできることを増やしながらか大きくなっていきます。

子どもの時はとても純粋に、自分でできるようになったことを、大人に褒めてもらいたい、時にはご褒美が欲しいという気持ちでやっていたように思います。親も家事をしながら、あるいは忙しい中でも子どものために時間を作ってくれていたことでしょう。これは家庭の何気ない一コマにすぎないかもしれませんが、人とのより良い人間関係を作っていくために、とても大切なことを教えてくれているように思います。

例えば、友達、同僚との関係、パートナーとの関係、会社の部下と上司との関係などに置き換えてみてください。状況に違いはあれど、誰もが「自分の良い所を見てほしい、活躍している姿を見てほしい」そして「褒めてほしい、認めてほしい」はずです。ましてや見ていてほしい相手がパートナーや大切に思っている人、信頼・尊敬している人であれば、より一層そう思うに違いありません。見守る側にいる人は、目の前で貴重な成長過程にある姿を、自分に見せてくれているという喜びを、その人と分かち合い、照れながらも思い切り「褒めて」「認めて」みてはいかがでしょう。そうすることで、昨日より少しいい今日を過ごせると思えます。

そして、相手だけではなく、自身も相手から喜びや元気をもらいながら、いつの間にか成長していくのかもしれないね。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9684 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ